



時 栃 報 幼

題字／栃木県知事 福田富一氏

第 164 号

令和8年6月20日

一般社団法人 栃木県幼稚園連合会

〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人／齋藤 君世 ●発行人／船田 弘和

■栃幼連ホームページ <https://www.youchien.or.jp>



理事長就任にあたって



栃幼連理事長
船田 弘和

令和八年五月二十一日の通常総会において、皆様の寛大なお心により再任され、理事長として三期目の職責を担うことになり、改めて責任の重さを痛感しております。

今回の改選では、今までお支えいただいた馬場・今井の両副理事長が次世代への期待をもつて退任され、その期待にお応えすべく石川・小倉の新副理事長が輝かしく就任されました。黒田副理事長、地区選出理事、ご指名させていただいた理事の先生方と力を合わせ、栃幼連加盟園の皆様の負託にお答えするための新たな執行部が誕生いたしました。細島総務委員長・上野振興委員長・岡本教育研究委員長・秋間経営研究委員長・齋藤広報委員長・小森谷青年部委員長率い

る委員会においては専門委員の先生方のお力を結集して着実に目的に向かって事業を進めていただきます。

栃幼連では、類型にとらわれず、各園が役割を果たし、栃木県の子どもの未来のために、教育と経営の環境をととのえ、保育現場で子どもたちと向き合う先生方には、教育力の向上を願う研修メニューを充実してまいりました。今後も栃木県子ども政策課、栃木県幼児教育センターのご理解とご協力のもと、さらなる充実に努めてまいります。

振興活動においては、振興連盟の顧問として石嶋前会長に引き続きお力添えをいただき、栃木県知事や、幼児教育を支援する議員の会の自民党県議の先生方に深いご理解をいただきながら、馬場新会長と共に振興活動の成果が得られるよう力強く展開してまいります。

加盟園の皆様にはご理解と、お力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

推し活 LAドジャース 特に日本人トリオの活躍に期待しています。

こども政策課長 就任にあたって



こども政策課長
野中 延寿

一般社団法人栃木県幼稚園連合会及び会員の皆様におかれましては、日頃から本県の幼児教育・保育の振興はもとより、県政の推進につきまして、格別の御理解、御協力をいただいておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

この度、こども政策課長の職を拝命しました野中でございます。九年ぶりに戻って参りましたが、当時は子ども子育て支援新制度の導入の時でした。私学助成に残るのか新制度に移行するのか、まさに選択の、激動の時でした。今なお様々な課題が山積しておりますので、身の引き締まる思いでございます。

さて、急速な少子化の進行や地域社会における人間関係の希薄化等により、子育てを取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、国においては「こどもまんなか社会」の実現に向け、幼稚園教諭等の更なる処遇改善やこども誰でも通園制度の本格実施など、安心して子育てできる社会の実現に向けた施策が進められています。

県におきまして、今年度スタ

トする県政の基本方針「新とちぎ未来創造プラン」に基づき、県の総力をあげて、とちぎの未来を築いていくため、「人づくり」をはじめとする五つの重点戦略を積極的に推進することとしています。

特に「人づくり」の戦略につきましては、「こどもぎゅーとちぎ実現プロジェクト」として、子育ては大変というイメージを払拭し、子育てを前向きに感じられるよう、様々な取組を展開して参ります。

今回、「推し活」というテーマをいただきましたが、私の推しは趣味の草野球です。怪我なく万全の体調で試合に臨めるよう、毎朝五時台に起きて三十分ほどランニングをしてから出勤しています。体を動かすと気分がすっきりし、仕事にも前向きに取り組めます。自分の好きなことを続けるために努力する時間こそ、私にとつての推し活です。健康にも良いので、皆さんにもおすすめしたいと思います。

最後になりますが、すべての県民が「とちぎ」で生まれ、育ち、暮らす喜びと誇りを分かち合つとともに、次の時代を担う子どもたちが、夢や希望を持って健やかに成長できるように、地域における子育て支援の中核的役割を担っていただいている一般社団法人栃木県幼稚園連合会や会員の皆様とともに幼児教育・保育の振興と子育て環境の充実に努めて参りますので、引き続き、皆様の御理解、御協力をよろしく願います。



令和8年度を迎えても...

幼児教育センター長 前原 由紀



先日、買い物をしていたら、しんちゃんという教えるにバッテリー会いました。彼は御年

二十三歳、大学院生で、なんと、宇宙工学の勉強をしていて、夢は宇宙飛行士だそうです。そんな彼が幼児期から宇宙好きだったかというところではありません。彼が幼児期に夢中になっていたものは「きのこ」でした。なぜか、きのこが大好きで、しんちゃんと一緒に園長先生に頼み込んで「きのこ図鑑」を購入してもらったことを思い出しました。しんちゃんは、その図鑑を肌身離さず持ち歩いて園生活を送りました。そこに「シイタケ栽培方法」が載っている、「これ育てたい。」と言い出し、シイタケの木に菌を埋め込んで栽培したこともあります。他の子たちが、やれダンゴムシだ、やれザリガニだと言っているとき、彼はシイタケ栽培に夢中でした。本人にその話をしたら、なんと彼はまったく覚えていませんでした。でも私は、しんちゃんの好きなことに寄り添ってあげてよかったと心の底から思いました。「きのこ」のことは覚えていないけれど、好きなことをとことん追究する楽しさ、わくわくする気持ち、夢中になって取り組むおもしろさは、今の彼の研究に向かう姿の根幹に

なっていると思ったからです。別れ際に「幼稚園で遊ぶのが本当に楽しかったです。」と言ってくれました。その一言で私の苦労は一瞬でふつとびました。

きのこ好きのしんちゃんは、宇宙飛行士を目指す立派な青年になりました。夢に向かって自分を信じて突き進むしんちゃんが私にはまぶしすぎました。そして、「幼児期に育てたいこと」について改めて考えさせられました。これに関しての正解はありません。おそらく幼児教育に携わっていくかぎり永遠に考えていかねければならない問いなのだと思います。「幼児期に育てたい力とは? それをどのように育てるのか」令和八年度を迎えても、相変わらずセンタースタッフでその問いに向き合っています。

最後になりますが、栃木県幼稚園連合会の皆様には、日頃より多岐にわたるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。また、認定こども園あかみ幼稚園理事長 中山 昌樹様には、幼児教育指導員として運営に寄与していただき、重ねて感謝申し上げます。今年度も変わらぬ温かいエールを送っていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

ちなみに、私の「推し」は塚原あゆみさんというドラマや映画の演出家です。彼女の創る世界観にいつも引き込まれ、作品の舞台となった場所を巡るなど「推し活」をしています。

副理事長挨拶

栃幼連副理事長 黒田 光泰



今期も副理事長の任を務めさせていただくこととなりました。新任の二人の副理事長と力を併せて理事長の船田先生を全力で支え栃幼連の加盟各園のために励むことを約束いたします。

前期に続いて振興委員会、経営研究委員会と広報委員会を担当いたします。園の安定した運営がなければ豊かな保育環境は担保できません。これまでの経験を生かして園の経営に効果的な内容の研修会や有益な情報の提供がなされるよう努め、加盟各園の振興発展に寄与できるよう努めて参ります。

【推し活】二〇〇五年、宮城県仙台市に東北楽天ゴールデンイーグルスが誕生しました。仙台の親友からファンクラブの創設を依頼され、同年大田原市を拠点に「大田原楽天応援会」を設立しました。当初は事務局長として会の運営に努めましたが、二〇一三年に日本シリーズで巨人軍に勝って日本一となり、翌年二〇一四年より会長となりました。以来、会長として年に何度となく仙台の球場に応援バスを仕立てて出かけていますが、残念ながら成績は誇れるものではありません。妻からは「もう止めなさい」と言われていますが、今年も懲りずに熱い応援を続

けています。

栃幼連副理事長 小倉 庸寛



このたび、副理事長の職を拝命いたしました。まだまだ学ばべきことも多い若輩者ですが、このような大役を仰せつかり、その責任の重さを感じております。初めてのことも多く、皆様にご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが、一つひとつ真摯に取り組んでまいります。これまで栃幼連を支えてこられた諸先輩方のご尽力に深く敬意を表するとともに、船田理事長を補佐し、黒田副理事長や石川副理事長にご指導をいただきながら、理事の皆様と力を合わせ、会員の皆様の支えとなれるよう力を尽くしてまいります。何卒、よろしくお願いいたします。

【推し活】はNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」にハマっています。

栃幼連副理事長 石川 健太郎



このたびご縁をいただき、副理事長を拝命いたしました。少子化や制度改革など、幼児教育を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、子どもたちにとってより良い育ちの場を守り、各園の先生方が安心して保育に取り組める環境づくりに、微力ながら努めてまいります。また、皆様とのつながりや情報共有を大切にしながら、連合会



各委員長挨拶

として充実した活動となるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私のささやかな**推し活**は、「我が家の四人の子どもたちの応援」です。部活動や習い事の送迎で慌ただしく過ごしていますが、一生懸命頑張る姿を見ることが、何よりの楽しみであり元気の源になっています。

総務委員長 細島 洋明



命し、最初に訪れた難問「あなたの推し活は何ですか？」子どもの頃から何かにどっぷりハマったこともなく、現在も**推し活**と呼べるようなことは何も・

それならば。これからの任期二年間、総務委員会一丸となって、船田理事長と池田事務局長を全力で推してみようと思います。みなさまご協力よろしくお願ひいたします。

振興委員長 上野 和彦



振興委員会を任せていただくことになりました。まずは、その責任の重さを受け止めて、加盟園の皆様のお力になれるよう誠実に務めてまいります。園の運営は、目立たない積み重ねが多い仕

事ですが、その一つひとつが子どもたちの育ちを支える大切な基盤です。だからこそ、委員の先生方と力を合わせ、「現場の困りごとに対応する」「園同士が支え合える環境をつくる」という二つの軸を大切に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

推し活：最近の推しは、体脂肪率六%まで仕上がった。自分の体です。さらにカッコいい細マッチョ委員長を目指して鍛え続けています。努力が形になっていく楽しさを励みに、日々アップデイト中です。リバウンドしないかどうか：ぜひ温かく見守っていただけたら嬉しいですよ。

教育研究委員長 岡本 純世



教育研究委員長という大役を仰せつかり、至らないところも多々ありますが、自分自身、

一保育者から主任、園長と、現場から管理職まで各々の立場を経験してきたことを活かして、皆さんに「保育っておもしろい！」と感じていただけるような研修を提供できるように、精一杯務めさせていただきますと思ひております。

私の**推し活**は「旅行」です。

経営研究委員長 秋間 英司



初めて経営研究委員長を務めさせていただきますことになりました。少子

化や社会環境の変化など、幼児教育を取り巻く状況が日々変化する中、加盟園の皆様にも効果的な情報が提供できるよう研修や事業を運営してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

推し活：「我が子たち（長女・長男・次女）」

広報委員長 齋藤 君世



今年度も引き続き広報委員長を務めさせていただきます。「栃幼時報」は連合会の活動や

研修の軌跡を記す大切な記録です。皆様の振り返りにぜひ活用ください。さて、私の**推し**は「押しボタン」です。バスやエレベーターなど、押した瞬間のレスポンスに心が弾みます。広報活動でも皆様へ確かな響きをお届けできるよう努めます。

青年部委員長 小森谷 博一



今年より青年部委員長を仰せつかりました。近年では徐々に青年部委員や実行委員に参

加してくださる先生方も増えてきており、良い機運を感じております。各所と連携し、諸先生方のお力を借りながら頑張らせていただきます。

推しという推しはおりませんが、今は娘の要望で飼いだめたメダカに癒されております。

令和8年度
栃木県幼稚園連合会
定時総会

期日 令和八年五月二十一日（木）
会場 コンセーレ（アイリスホール）



栃木県議会 議長 関谷暢之様、栃木県保健福祉部 次長 野中延寿様、栃木県幼児教育センター長 前原由紀様、栃木県幼稚園連合会顧問の石嶋勇先生のご臨席を賜り、コンセーレにおいて、令和八年度定時総会が開催された。

黒田副理事長が開会を宣言したあと、船田理事長の挨拶では、全日本私立幼稚園連合会が社団法人化に向けて動いていることと埼玉県が関東地区から独立して埼玉地区会となったことが報告された。

続いて、ご来賓よりご祝辞を頂戴し、議案審議となった。

議長選出では、認定こども園佐野たちばな幼稚園 園長 石原顯彰先生が選出された。資格審査、議事録署名人および記録

人の選出ののちに、議案審議へと移った。

議案では、報告事項として、令和七年度事業報告を船田理事長、各委





員会委員長より報告された。

審議事項では、第一号議案 令和七年度 収支決算書類および附属明細書について審議し、満場一致にて可決承認された。

第二号議案では、定款の一部変更について審議し、満場一致にて可決承認された。

第三号議案では、役員改選について審議し、理事三十七名、監事三名が満場一致にて可決承認された。また、新たに正・副理事長並びに常任理事が選出され、満場一致にて可決承認された。

今井副理事長の閉会のことばで定時総会を閉会した。

【資格審査】

(百九十七園中)

出席園 百二十四園

委任状提出園 七十二園

【議事録署名人】

山王認定こども園

中里 光江 先生

認定こども園 静林幼稚園

伊沢 信恭 先生

【記録人】

事務局

渡辺 瑠菜 氏

栃木県私立幼稚園振興連盟 令和八年度総会

期日…令和八年五月二十一日(木)

会場…コンセーレ(アイリスホール)

令和八年度栃幼連定時総会終了後、栃木県私立幼稚園振興連盟の令



令和八年度総会が開催された。石嶋会長より「昨年度の振興活動により大きな成果が得られた。今後も子どもたちのよりよい教育・保育のために、

より結束を強め、引き続きの振興活動を」との話があった。その後、総会に入る。議案は以下の通り。

【議長選出】

認定こども園 佐野たちばな幼稚園

石原 顕彰 先生

【資格審査】

(百七十二名中)

出席 九十五名

委任状出席 六十一名

【議事録署名人】

山王認定こども園

中里 光江 先生

認定こども園 静林幼稚園

伊沢 信恭 先生

【記録人】

事務局

鈴木 榛華 氏

【議案】

・第一号議案

令和七年度事業報告並びに収支決算の承認について

・第二号議案

令和八年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について

・第三号議案

自由民主党栃木県私立幼稚園支部令和七年度収支決算並びに令和八

年度収支予算(案)の審議について

・第四号議案

役員改選について



信先生が新会長となるに伴い、総会参加者へ一層の振興活動を約束し、閉会となった。

総会終了後は県議会議員の方々を囲み、懇談会が行われた。各地区ごとにテーブルが分かれ、それぞれ今後の幼児教育・保育や地域の課題等について和やかに話が行われた。



教員養成校との懇談会

期日 令和八年五月二十六日(火)

会場 ニューみくら(大会議室)

出席養成校(順不同)

・宇都宮ビジネス電子専門学校

・宇都宮共和国

・佐野日本大学短期大学

・國學院大学栃木短期大学

・白鷗大学

・作新学院大学短期大学部

主な懇談内容

県内の教員養成校七校(十一名)と栃幼連(正副理事長、常任理事あわせて十名)の懇談会は、主に次のことが協議された。

一、栃幼連加盟園による『就職応援フェア』七月五日(日)の実施について

二、『就職応援フェア』への広告(協賛)について

三、教員養成校の進路状況実態調査について

四、教育実習・保育実習について

五、幼稚園・認定こども園などの就職に関する諸問題について

細島総務委員長の進行により、七月五日(日)に開催予定の『就職応援フェア』の日時や会場、QRコードによる受付方法などの説明が行われた。学生配布用のチラシとポスターを各校に渡すとともに、周知を依頼した。

懇談会では、教育実習における情報漏洩や、写真の使用を伴う情報管理、性被害防止などの面で、誓約書の必要性について協議された。

今後は、実習に必要な書類のひとつとして取り扱うことも検討された。



研修会だより

新規採用幼稚園教諭等研修（宿泊研修）代替研修①

期日 令和八年四月十五日（水）

会場 コンセーレ（大ホール）

参加 百十八名

内容 「社会人一年目のマナーアップ講座」

講師 認定こども園黒羽幼稚園

副園長 栗田 典昭先生

メモ ここ数年、新規採用の教諭が減少しているが、なるべく

良い研修をと今年度

も認定こども園黒羽

幼稚園の副園長である

栗田典昭先生を講師

として研修を実施

した。



社会人一年目ということで、まずは社会人としての心得や学生との違い、そして今後先生として働いていく上での心構えを説いた。



ロールプレイングとして、普段からありそうなシチュエーションの電話応対を行う際には、敬語や保護者を相手としたTPOを考えた受け答えが求められた。

〇・一・二歳児研修

期日 令和八年五月十九日（火）

会場 コンセーレ（大ホール）

参加 百十一名

内容 「〇・一・二歳児の保護者支援」

講師

東京家政大学
ナースリールーム・

施設長 工藤 佳代子氏

メモ 保育現場に求められる保護者支援とは、親と子をつなぎ、

良好な関係をサポート

トしていくことである。

そのために保育

者自身は子どもを深く

理解する力や子ども

を語る表現力を磨き、

専門性を高めていく

子どもが目線に立った解説で日々の

のエピソードを保護者に共有すること

で、保護者自身がわ

が子の魅力に気付き、

子どものことをもつ

と知りたいと思える。

子どもとの関係が良

くなることは、親子を

つなぐサポートでもある。



資質向上研修①「評価」

期日 令和八年五月二十日（木）

会場 コンセーレ（アイリスホール）

参加 五十四名

内容 「保育の質評価と資質向上の手立て」

講師

国立教育政策研究所（NER）
幼児教育研究センター

副センター長 堀越 紀香氏

メモ NERで「幼児教育における保育実践の質評価スケール案」を作った。現時

点では、質評価ス

ケール案を理解して

園内研修等で活用す

るための研修や、評

価者を養成するための研修について

検討中であるため、慎重に活用して

ほしい。

「幼児教育における保育実践の質

評価スケール案」として以下の九項

目が見された。

I 健康と安全への配慮と指導

II 社会情緒的な育ちを促す援助

III 主体的な遊びや活動の援助

IV 好奇心を育む環境構成

V 人とのコミュニケーションや言葉の援助

VI 言語的な表現の援助

VII 数量・図形や科学

への興味・関心、

感覚の援助

思考し探求する

プロセスの援助

IX 協同や課題解決に向かうプロセスの援助



第一回 保育テクニカル講座

期日 令和八年五月二十八日（木）

会場 コンセーレ（大ホール）

参加 百六名

内容 「絵本のある世界／保育環境にもっと絵本を」

講師

東京家政大学 子ども支援

学部 子ども支援学科・

教授 野口 隆子氏

① 絵本と物語との出会い、

② 絵本の魅力と構造・絵本の

ジャンルの多様性と

「物語」、③ 発達段階

でみた「絵本」の魅力

力、実践例の内容であ

った。

特長と構造では、単純構造の赤

ちゃん絵本（絵と文字が一致し、オ

ノマトペ・言葉のリズムを体感）か

ら、ワーキングメモリーの発達とと

もに、次第に短い話、物語、展開

などの複雑な構造を理解し、期待と

想をもって絵本の世界に惹かれてい

く幼児の姿が語られた。選書では、

子どもの「経験」を重視、繰り返し

や累加型、冒険や異世界から必ず

戻って安心する結末（現実と絵本の

行き来で理解が深まる）、時代や価

値観の変化も考慮することが伝えら

れた。また、絵本から伝わる楽しさ

や膨らんだ「やりたい」を形や表現

できる空間づくりや、自分で話や絵

本を作ったり披露したり遊びや活動に

展開する事例も示された。その他、

幼児が絵本を手にする空間づくり

やジャンル、言葉遊び、めくるとき

の問や素材など、たっ

ぷりご教示いただき、

園での「絵本の時間」

を新たな視点で再考

する機会となった。





令和8・9年度 栃幼連役員・委員会構成

令和8年5月21日現在

理事長	船田 弘和（認定こども園おおみや幼児教育センター）		
副理事長	黒田 光泰（認定こども園ひかり幼稚園）	石川健太郎（認定こども園アルスみなみ幼稚園）	小倉 庸寛（吉田保育園）
	【振興・経営研究・広報 委員会担当】	【総務・振興 委員会担当】	【教育研究・青年部 委員会担当】

●総務委員会

委員長	細島 洋明 （認定こども園真向ふたば幼稚園いちごの杜保育園）	専門委員	栗子 佳子 （幼保連携型認定こども園矢場川幼稚園）
副委員長	平野 正大 （認定こども園栗の実）	//	松下 匡崇 （認定こども園若葉幼稚園）
委員	寺内 宏子 （作新学院幼稚園）	//	栗原 賢明 （認定こども園くにや幼稚園）
//	星野 亜由美 （認定こども園うつのみや保育園）	//	中山 早苗 （認定こども園氏家幼稚園）
//	大塚 真司 （認定こども園東光寺幼稚園）	//	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）
//	大塚 倫子 （認定こども園こばと）		
//	橋本 慎平 （認定こども園鹿沼みどり幼稚園）		

●振興委員会

委員長	上野 和彦 （にのみや認定こども園）	専門委員	馬場 章信 （認定こども園たから幼稚園）
副委員長	上沢 伸 （鹿沼幼稚園）	//	前田 浩輔 （認定こども園友愛幼稚園）
委員	岩本 眞砂枝 （認定みどりこども園）	//	酒井 龍宏 （認定こども園吹上幼稚園）
//	木嶋 浩史 （御幸幼稚園）	//	関口 純一 （輪王寺附属日光幼稚園）
//	荒居 養雄 （認定こども園育成館幼稚園）	//	矢板 真雄 （認定こども園なでしこ幼稚園）
//	大中 清見 （法得幼稚園）		
//	石嶋 純 （認定こども園きつれ川幼稚園）	私学助成園委員会(小委員会) 県内私学助成園 15園	
//	佐久間 久枝 （認定こども園マロニエ幼稚園）		

●教育研究委員会

委員長	岡本 純世 （認定こども園すみれ幼稚園）	専門委員	高根沢 伸友 （宇都宮大学共同教育学部附属幼稚園）
副委員長	山崎 英明 （認定こども園釜井台幼稚園）	//	篠原 真木子 （認定こども園茂木愛泉幼稚園）
委員	小野里 真由美 （松ヶ峰幼稚園認定こども園）	//	人見 将之 （足利さくら幼稚園）
//	鈴木 典子 （山辺幼稚園）	//	大島 絵理子 （認定こども園渡瀬保育園）
//	栗田 英子 （認定こども園黒羽幼稚園）	//	堀 好美 （認定こども園舟舟幼稚園）
		//	佐藤 沙紀 （認定こども園野ばら幼稚園）
		//	青柳 貴也 （認定こども園見望台幼稚園）
		//	大嶋 裕 （認定こども園今市中央幼稚園）
		//	岡本 純世 （認定こども園すみれ幼稚園）
		//	栗田 英子 （認定こども園黒羽幼稚園）

●経営研究委員会

委員長	秋間 英司 （認定こども園黒磯幼稚園）	専門委員	新田 正法 （認定こども園足利いずみ幼稚園）
副委員長	吉羽 俊明 （認定こども園高ノ台幼稚園）	//	石原 顕彰 （認定こども園佐野たちばな幼稚園）
委員	斎藤 徹 （認定こども園愛隣幼稚園）	//	町田 卓哉 （認定こども園おひらふ幼稚園）
//	関口 修司 （認定こども園ひらかわ幼稚園）	//	近藤 史人 （認定こども園みのり幼稚園）
//	阿部 博美 （認定こども園今市中央幼稚園）	//	山口 亮二 （聖母幼稚園）
		//	吉水 弘文 （認定こども園烏山みどり幼稚園）

●広報委員会

委員長	齋藤 君世 （認定こども園たかねざわ幼稚園）	専門委員	一ノ瀬 孝之 （認定こども園足利しらゆり幼稚園）
副委員長	佐藤 健太 （認定こども園清愛幼稚園）	//	酒井 康晴 （認定こども園愛育幼稚園）
委員	藤 秀彦 （認定こども園清愛幼稚園）	//	市村 直哉 （認定こども園しずく幼稚園）
//	高橋 ゆかり （認定こども園マリア幼稚園）	//	月江 正太郎 （三島保育園）
//	兵藤 友妃子 （足利大学附属幼稚園）		
//	山中 真由美 （認定おおやこども園）		
//	松島 則子 （認定こども園清滝幼稚園）		

●青年部委員会

委員長	小森谷 博一 （認定こども園大平みなみ幼稚園）	地区幹事	船田 恵弘 （認定こども園おおみや幼児教育センター）
副委員長	中臣 拓 （めぐみ幼稚園）	//	栗原 賢臣 （認定こども園くにや幼稚園）
//	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）	//	花岡 宏樹 （認定こども園梅ヶ原幼稚園）
地区幹事	三本木 健子 （認定こども園伊東文化幼稚園）	//	牧川 晃子 （認定こども園野木幼稚園）
//	中臣 拓 （めぐみ幼稚園）	//	香川 成美 （認定こども園鹿沼ひかり幼稚園）
//	荒木 玲音 （認定こども園せんだん幼稚園）	//	吉水 弘文 （認定こども園烏山みどり幼稚園）
//	大塚 慧 （認定こども園東光寺幼稚園）	//	栗田 典昭 （認定こども園黒羽幼稚園）
//	小林 竜樹 （認定こども園呑竜幼稚園）		



幼児教育センターだより



今年度の研修がスタートしました

令和八（二〇二六）年度の事業・研修が始まりました。

今年度も引き続き、県全体の幼児教育の質の向上・幼小の円滑な接続推進の一助となるよう努めて参ります。

研修の詳細は、令和八（二〇二六）年度版「幼児教育センター研修案内」を御参照ください。

新規採用幼稚園教諭等研修第一日・保育所保育士研修（新規採用）

四月三日、新規採用幼稚園教諭等研修第一日を総合教育センターで実施し、二九名が研修に臨みました。開講式では、野中延寿こども政策課長、船田弘和栃木県幼稚園連合会理事長、前原由紀幼児教育センター長より挨拶があり、新採者へ歓迎の言葉と温かいエールが送られました。

研修オリエンテーションの後、「とちぎっ子の学びを支える保育者として」「保育の実践と省察」「幼児期の保健管理と安全管理」について講話や演習を行いました。新採者からは、「その子らしさを大



事にし、保育者自身が安心の土台に

なれるよう目の前のこどもを見つめてじっくりと関わっていききたい」「今回の研修で学んだ安全管理や記録のと

り方などを実践し、こどもたちから学びながら、困った時は周りの先生方に相談してこどもたちの発達を踏まえた関わりをしていきたい」などの感想がありました。

新採者の学びが深まり、明日への期待や意欲につながっていくような研修となるよう努めて参ります。



幼稚園等教職五年目研修第一日

五月十三日に、総合教育センターで第一日を実施しました。教職五年目の幼稚園教諭・幼保連携型認定こども園の保育教諭九十名が研修に臨みました。

「子ども主体の保育／質の高い保育を目指して」と題して、大豆生田啓友幼児教育センター顧問の講話や協議を行いました。

講話・協議を通して受講者からは、「自身の保育を見直すきっかけになった。こどもたちの声にもっと耳を傾けて活動を充実させたい」「こども主体の保育を通して、こどもも保育者も保護者もわ



くわくするような園を目指したい。

まずは、廃材を自由に使えるコーナーを作っていきたい」「こどもたちの興味・関心をくみながら、一緒に行事を作っていきたい」「当たり前を見直すことが大切だと思った。出来ることから挑戦していく」などの感想があり、自身のキャリアアップを意識して意気軒昂と研修に臨む姿が見られました。

組織の一員としての自覚と保育の実践的指導力の向上となるよう、研修内容の充実に努めて参ります。

架け橋期の教育の充実にに関する指導資料について



令和七年度幼児教育調査研究の成果物「架け橋期の教育実践『自己発揮から深い学びへ』」を作成しました。こどもが主体的に学びを深めていくためには、架け橋期の教育・保育を充実させる必要があります。架け橋期のこどもの学びを深めていくために、学びに向かうこどもの姿とこどもの学びが深まる指導の工夫についてまとめました。架け橋期の教育の充実を図るための参考資料として、ぜひ、御活用ください。

研修の申込みはこちらから

研修の申込みは、こちらの研修案内（三月送付）を御活用ください。研修の申込みはQRコードからの申込みとなりますので、御承知おきください。

また、研修案内は、幼児教育センターのWebサイトにも掲載しております。各研修実施初日二週間前までが申込み受付期間となります。



センター職員紹介

新メンバー

副主幹 深沢 智美
指導主事 那須町教育委員会より
王生町立王生小学校より
幼児教育指導員 鈴木 恵子
現 宇都宮市母子寡婦福祉連合会あゆみ北保育園園長

マスコットキャラクターのピョちゃんですピョ!

よろしくお願いいたします



- 大坪指導主事
- 中山幼児教育指導員
- 小林指導主事
- 大橋指導主事
- 鈴木幼児教育指導員
- 前原センター長
- 深沢副主幹
- 大豆生田顧問



こども政策課だより

四月の定期異動により、野中延寿課長、東城課長補佐(総括)が着任し、子ども・子育て支援班では、吉本主任、菊池主事、川面主事が配属となりました。

引き続き、幼児教育の振興や子育て支援の充実に努めて参りますので、今年度もよろしく願います。



- 越場主査
- 大貫主事
- 小又主事
- 羽入主任
- 檜山主査
- 相澤主任
- 菊池主事
- 川面主事
- 植竹子ども子育て支援班長
- 野中課長
- 東城課長補佐(総括)
- 吉本主任

学校基礎調査について

私学助成幼稚園に対するヒアリングについて、今年度から原則としてデータによる資料提出へ見直すこととしました。

ご不明な点等がありましたら、こども政策課まで御連絡ください。

各種届出書類について

- 園則や園地・園舎、理事・監事等の変更を行った場合は、各種届出を提出してください。
- 学校法人の令和七年度決算書及び令和八年度収支予算書の提出期限は六月三〇日です。
- 令和七年度決算に伴う資産総額の変更登記を寄附行為で定める期日までに行い、登記済届を提出してください。

令和八年七月～九月までの事業予定

7月1日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 就職応援フェア
7月5日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 就職応援フェア
7月10日	栃幼PTA連絡会
7月13日	※幼稚園・子ども園・保育所主任等研修 資質向上研修(働き方改革)
7月14日	③新採研(集合研修)
7月24日	保育テクニカル講座
7月28日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 全日私幼関東地区教研大会(埼玉)
7月29日	第73回県教研大会
8月5日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 バス安全運転講習会
8月18日	(財)幼児教育実践学会
8月20日	新採研(宿泊研修)代替研修
8月21日	※幼稚園・子ども園・保育所主任等研修 0・1・2歳児研修
8月27日	設置者・園長研修会
9月3日	※教育課程研究集会
9月4日	保育テクニカル講座
9月14日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 保育セオリー講座
9月24日	※中堅幼稚園教諭等資質向上研修 保育セオリー講座
9月25日	※は幼児教育センター事業
9月28日	

弔事

● 宇都宮市 あおば幼稚園
前副園長 鈴木 房子 先生
令和八年三月二十二日 逝去

● 矢板市 認定こども園かしわ幼稚園
理事長・園長 中村 京子 先生
令和八年六月四日 逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

五十歳 何の数字でしょうか。

これは二〇二六年の日本人の平均年齢です。ちなみに一九八〇年は三十二歳です。ご存知の通り、日本は超高齢化社会に突入しています。こういった状況の中で、子どもたちに夢や希望、愛情を育む環境をどう整えていけば良いのでしょうか。

ひとつに幼稚園の教職員・保護者の方々が共に当事者意識を持ち、さまざまな問題に対処しながら、温かいまなざしで子どもたちを見守っていくこと。子どもたちが成長した時「こんな良い時代に産んでくれてありがとう。」と、親に対して感謝の気持ちが生えてくれたらとても素敵なことではないでしょうか。社会の悪い面に視点を向けるよりも、良い面に視点を向ければ、次世代を担う子どもたちの将来も捨てたものにはならないと思います。

(足利しらゆり幼稚園 一ノ瀬孝之)